



北海道支部だより

2022年9月号 Vol. 22-1

令和4年度・第31回 環境測定分析技術研究会発表会開催報告 @支部事務局

北環協、日環協北海道支部の年次事業として開催されております「環境測定技術研究会発表会」は平成4年に始まり、今年度で31回目となりました。ここ数年、コロナ禍の影響で多くのセミナーや講習会の開催が中止、延期となっている中、今年度も新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、会場参加とWeb参加を合わせたハイブリッド方式での開催となりました。会場参加26名、Web参加22名の皆様にご参加いただき、無事開催することができました。

☆第31回 環境測定分析技術研究会発表会 プログラム

- 開催日：令和4年 7月29日(金) 15:00～
- 場所：ホテルモントレーエーデルホフ（札幌市北区）
- 参加状況：発表会参加 26名(事業所、関係者含む)

【発表内容】

発表テーマ	発表者	所属
「ノルマルヘキサン抽出物含有量のフロリジルカラムによる動植物油・鉱物油の分離」	伊東 時子 氏	株式会社北炭ゼネラルサービス
「水銀の安定化・固型化技術とその評価方法について」	村木 陽太 氏	野村興産株式会社 イトムカ鉱業所
「十勝農協連の土壌分析について」	佐藤 琢磨 氏	十勝農業協同組合連合会 農産部農産化学研究所
「窒素キャリアガスでのGC/MS分析事例」	辰田 明 氏	株式会社福田水分センター

今年度も、ハイブリッド開催を継続しておりますが、4題の発表のうち4題すべてが会場発表となりました。会場参加者も徐々に増えてきており、発表時の雰囲気や質問タイム等も多くのアクティブな質問が飛び交い、コロナ禍前に近づいた活発な雰囲気となりました。日常分析に重ねて、従来の分析法の改善につながる検討や評価、また昨今のヘリウムガスの入手困難な状況への対応策として窒素ガスでの分析事例等、4題それぞれ全く異なる発表テーマであり、コロナ禍での開催ではありましたが非常に有意義な発表会であったと感じております。懇親会もコロナ対策を十分に講じた上で、着席形式でのスタイルとなりましたが、久々の対面での情報交換・交流の場としてとても意味のある時間になりました。来年度以降もこの発表会への多数のご参加をお願い申し上げます。

最後になりますが、お忙しいところ準備をしていただきました発表者の皆様、本発表会にご支援・ご協力を頂きました会員の皆様、企画運営いただきました北環協事務局、実行委員、運営委員の方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

☆発表会の様子



北海道環境計量証明事業協議会
会長 高橋 徹氏 ご挨拶



伊東 時子 氏



村木 陽太 氏



佐藤 琢磨 氏



辰田 明 氏



北海道環境計量証明事業協議会 幹事
高岡 伸一 氏



(一社)日本環境測定分析協会北海道支部
支部長 中村 次也 氏 ご挨拶



座長席

☆懇親会会場の様子

